

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続

(事業 委託 補助用)

Ⅰ 基本事項

整理番号 861

事業名	観光ボランティア養成講座委託		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	商工観光課		款	商工費・7款
電話	0799 - 37 - 3012			項	商工費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	観光振興費・3目	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり			
	まちづくりの目標	行って楽しい交流・感動の舞台【観光・交流】			
	施策目標	市民自ら地域の魅力を知り、あらゆる方面からみんなで発信し、南あわじファンを増やす			
該当する事業について「 」を選択		<input checked="" type="checkbox"/> 施策的事業	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 負担金補助	

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	市民	対象人数(人)	52,410
	目的	<p>意 図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)</p> <p>市民誰もが、あらゆる場で来訪者に南あわじ市の魅力を紹介・案内することができるとともに、ホスピタリティ(もてなしの心)をもって接することができる。 市民が地域の魅力を知る機会を提供し、案内人としての能力を育てる。 来訪者に地域の魅力を伝える。 観光協会と協力をを行いながら、観光ボランティアガイドを育成する。</p>		
	実施内容	<p>(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイド養成講座の開催 11/8~3/21 全講座7回 受講者数13名 南あわじ観光ボランティアガイド「国生みの里」の立上げ 登録者数 28名 ガイド実績 H20 おのころ島神社、諭鶴羽古道、沼島 計20回 H21 おのころ島神社、諭鶴羽古道、沼島、道の駅うずしお 計10回 渦潮について研修を重ね、3月13日から毎週土曜日に道の駅うずしおで「うずしおガイド」を実施 		
	背景、委託根拠	<p>(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向)</p> <p>日本各地で、その地域の魅力を紹介する観光ボランティアガイドが、積極的な活動やお客様への真心のこもった案内によって、高い評価を得られている事例が評判となっている。 南あわじ市においても観光地における付加価値を高めるため、早急に南あわじ市民が地域の魅力を紹介、案内できるガイドの育成が望まれている。 ガイド育成にあたっては、観光情報に精通した方による指導・教育が必要とされるため委託とした。</p>		
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (南あわじ市観光協会)	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)			
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から			

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	ガイド認定者数、ガイド実施実績					指標単位
							人
	指標説明 (指標算出 方法等)	養成講座を修了した認定者数 ボランティアガイド実施状況					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	目標値		20	20	20	20	
	実績値		27	8	11		
	達成度 (%)	-	135.0	40.0	55.0	-	
	目標値設定 の考え方	前年度認定者数					
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)	0	300	300	300	300	
	観光ボランティア養成講座委託料		300	300	300	300	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	0	300	300	300	300	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	903	837	846	846	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)		30	30	30	30	
事業量2(事業に要した人数)		1	1	1	1		
年間経費([A]+[B])	0	1,203	1,137	1,146	1,146		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	0.0	23.0	21.7	21.9	21.9		
	経費に関する 補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
達成度	%	-	135.0	40.0	55.0	-
達成度	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 11月～3月にかけて第3期養成講座を実施 4月～3月まで、国生みの里によるガイド及びガイド場所の研究、うずしおガイドの実施 昨年度は講座受講生が9名で少なかったため、今年度は講座を日曜日に実施した。その結果、受講生は13名に増えたが、目標とする20名に達することが出来なかった。今後、ターゲットや開催場所、講義内容を変更し、受講生を増やす必要がある。 一方、講座修了生で結成する観光ボランティアガイド「国生みの里」では道の駅うずしおでの「うずしおガイド」に向けて研修を重ね、3月13日から毎週土曜日に実施することになったことは今後の活躍に繋がるものとして評価できる。					自己評価 (5点評価)
	3					
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 観光地の魅力を伝えるためには、観光ボランティアガイドは有効である。 道の駅うずしおでの「うずしおガイド」を毎週実施することにより、養成講座修了生の活躍の場ができたほか、観光地の付加価値を高め、市内の観光PRに繋がる。 課題については、養成講座の募集方法や講座開催場所、講義内容に工夫を凝らせば受講者は伸びると考えられる。					自己評価 (5点評価)
	4					
効率性	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業単価	円	0.0	23.0	21.7	21.9	21.9
効率性	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 養成講座開催だけでなく、修了者の活躍の場の提供、ガイドマニュアルの作成、研鑽及び島外へのPRが必要であるため、コスト面から見て効果は大きい。					自己評価 (5点評価)
	4					
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 観光立市「南あわじ市」を目指すためには必須と考えられる。市民全体のホスピタリティーの向上による市のイメージアップは大きい。					自己評価 (5点評価)
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 養成講座について、受講者数を増やすために日曜日に実施したが目標の人数に達することが出来なかった。来年度は講義内容等を見直し、目標の人数に近づけたい。 ボランティアガイド「国生みの里」について、「国生み神話」をテーマとしたおのころ島神社と沼島のガイドに加えて、毎週土曜日に実施する「うずしおガイド」を実現したことは観光地の付加価値を高めたほか、観光客へ市内の観光PRに繋がるものと期待できる。 ボランティアガイドの必要性は高く、観光協会と連携することにより効率性が上がる。今後も継続が必要である。					評価グラフ
	4					

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>委託先の観光協会には、現状の経費で養成講座開催及びボランティアガイド組織・体制作りを行なって頂いており、ガイドの活躍による波及効果により、全市民のホスピタリティー(おもてなしの心)の向上を期待するもので、平成22年度も継続して実施する。</p>	<p>今後、魅力ある講座内容の工夫や周知方法の改善を検討するとともに、「国生みの里」が活動できる場の提供に努める。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	<p>平成19年度より始めた新規事業であり、ボランティアガイド組織・体制が機能するまでの期間は、市からの委託による事業継続が必要と考える。</p> <p>事業中止・廃止をした場合、ボランティアガイドの育成・組織作りはできないと考える。</p> <p>ただし、ガイド組織・体制が整った後、観光協会の独自事業として、継続されることが望ましいとは考える。</p>	